

令和2年度 今治育成園 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治育成園
所在地	今治市町谷甲746番地
指定管理者	<p>名 称 社会福祉法人 今治福祉施設協会</p> <p>代表者 理事長 胡井 裕志</p> <p>住 所 今治市南宝来町一丁目9番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p><a href="mailto:syougaifukus@imabari-city.jp">E-mail: syougaifukus@imabari-city.jp</a></p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	法令を遵守し施設の適正な管理運営に努めました。	A	職員は施設の設置目的や管理運営方針等を理解して運営しています。保護者にも運営方針などを説明し、理解を得ています。
利用状況	A	入所者数が退所者の関係で定員を満たしていませんが、新規の入所者については随時調整を行っております。短期入所・レスパイトにつきましては、平常時の定員4名、特殊な事情のある場合の緊急時の定員4名とし、当施設が止むを得ない事情のため受入が困難な場合を除き、可能な限り受け入れに努めました。販売収入については、施設、地域等の行事の中止に伴い減収となっております。	A	今年新型コロナウイルス感染症防止対策により休日・お盆等の帰省を自粛したこともあり、延利用人数は前年比1,175人増となっております。待機者もいますので、家族・関係機関と調整のうえ早期の入所支援をお願いします。また、短期入所・レスパイトについては、受入停止時期があったため、延利用人数は減となりました。急な用事等で家族が世話をできなくなった時の場所ですので、これからできる限りの対応をお願いします。
事業収支	A	社会福祉法人今治福祉施設協会の経理規程等に基づき適正な経理業務を実施しております。	A	延利用人数増による収益の増加以外は収支ともに大きな変動は見られません。引き続き経費削減に努め健全な運営をお願いします。
管理運営体制	A	組織体制・職員研修等、適正な運営が遂行されるように努めました。	A	新型コロナウイルス感染症防止対策により派遣研修には出席できませんでしたが、組織内研修で入所者の支援内容や事故防止について研修ができています。研修内容も職員全員の回覧や朝礼・終礼により情報共有ができております。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	A	今治市との協議・連携により、仕様書等で定められた管理業務を今治育成園職員自らが実施し、職員が直接関与することが困難な業務につきましては、適正に業者選定、業務の委託を行い、適切な管理に努めました。	A	どの業務も業務基準を満たした対応がなされています。不審者対策では新型コロナウイルス感染症防止対策により実地訓練はできませんでしたが、刺股も2本用意されている外、eラーニングによる警備研修も実施されています。食品を取り扱う厨房、食品庫では毎月委託業者による消毒を行い衛生管理に取り組んでいます。
利用業務	A	利用指導資料作成、利用料減免、利用促進業務、誘致活動業務につきましては、当施設にとって馴染まないものとして自己評価の対象外とさせていただいております。利用者並びに当施設に関与される方々に、職員が親切丁寧な対応を行うよう努めました。	B	年3回の施設広報誌の発行により利用者家族への情報提供及び現況報告ができております。またイベント情報チラシを発行し、地域や関係諸団体等への情報提供も積極的に行っています。
その他業務	A	事故及び災害発生時の対応について、リスクマネジメント委員会を月1回実施し、職員協議の上で十分な対応を行うよう努めました。省エネルギー対策につきましては、日頃の活動におきましても、ごみの分別や資源のリサイクルに積極的に取り組みました。喫煙対策では、指定喫煙場所を当施設の建物外に設置し、分煙化を図りました。個人情報保護に関しましては、社会福祉法人今治福祉施設協会によります個人情報取り扱いに関する研修や職員より個別に誓約書を徴集し、適正な個人情報管理を徹底しております。利用時間等につきましては、利用者ニーズに配慮し、柔軟に対応できるよう努めました。	A	事故・災害等の対応マニュアルを作成し、避難訓練は1～2カ月毎実施、災害発生に備え食料を1週間分備蓄しています。事故が発生した場合は、利用者家族や市へ速やかに報告できています。また、看護師や生活支援員・施設長等で組織するリスクマネジメント委員会を毎月開催し事故・災害防止に努めています。個人情報も法人全体で情報管理を徹底しており、施設長を中心に取組んでいます。
修繕業務	B	修繕業務に関しては、可能な限りすみやかに対応し、長期使用ができるように努めました。	B	施設の老朽化による施設整備の修繕が増加していますが、利用者が安全に生活ができることを最優先にした対応ができています。
備品管理業務	B	備品管理業務については、適切に実施されるように努めました。	B	新型コロナウイルス感染症防止のため、複数で使用する円卓に代えて個別の机・椅子を購入、また多機能加湿装置も購入するなど対策がしっかりとできています。
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	利用者の利便性の向上のため、飲料水の自動販売機を設置し、市場価格と同額で販売しました。収入については、施設の管理運営費に充当しました。	B	利用者の利便性に寄与するため、飲料用の自動販売機が設定されております。目的外使用許可申請の手続きも適切に行われています。
自主事業	A	自主事業につきましては、例年であれば地域に根ざし、利用者並びに家族、地域住民、関連団体各位、職員が連携して創意工夫のもとで実施されております。今年度は感染症拡大に伴い多くの行事が中止となりました。今後は、感染症対策に努めながら、出来る限り当施設の諸活動によりまして、広く地域・一般の方々への普及啓蒙を行い、障害者福祉の向上に寄与すべく努めて参ります。	A	毎年恒例の「地域福祉祭り」や「観月会」は新型コロナウイルス感染症防止対策のため実施できませんでしたが、そのような中でも、感染症防止対策に努めながら、毎月の誕生会やクリスマスイベント、餅つき大会など、できる範囲のイベントを開催できています。
地域団体との連携	A	富田地区コミュニティ推進会をはじめとして、富田福里会、草の根ふれあい会等の関係諸団体と密接に連携し、感染症対策のために地域交流行事などは中止となりましたが、住民の皆様と共に、情報を共有し、ふれあいのまちづくり事業推進、障害者への理解を深めるなど地域に根ざし、地域に開かれ、地域に愛される施設づくりに邁進して参りました。	B	新型コロナウイルス感染症防止対策のため各種イベントは中止となりましたが、町谷地区自治会と共同して河川清掃活動が実施されました。これからも地域の自治会・医療機関・各種団体との連携を深め、地域に根ざした取り組みの継続を期待します。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	A	アンケートの実施にあたっては今治市と協議し、結果・分析等は適正に処理しております。	B	アンケートにより、利用者や家族から満足度の高い回答を得ております。ただし、回答率が50%以下となっているため、より多くの要望、意見を把握するためにも、回答率向上への取り組みをお願いします。
事故・苦情	A	当該利用者の事故や苦情に対し、意見が述べやすい環境整備に努め、適切な対応や記録・分析を行い、有効な対策が講じられるような組織づくりに努めました。	A	利用者の事故が増えておりますが、事故発生時の対応や状況報告などについては事故報告書として記載されています。医療機関受診や関係機関への報告も適切にできています。苦情などの報告もなく、円滑に業務が実施されています。
指定管理者の経営状態			貸借対照表等については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

## 総合コメント(市)

今治育成園では、施設入所支援、生活介護、短期入所(レスパイト含む)の3つの事業を展開しており、それぞれ順調に運営されています。特に施設入所者においては、ほぼ定員を満たしており、待機者もいる状況です。当施設は、地域との連携が強く、また地域の理解も深く、イベント時には大勢の地域住民が訪れます。今年は新型コロナウイルス感染症防止対策により中止を余儀なくされましたが、地域福祉祭り、観月会の2つの大きなイベントについては共催という形で例年実施されており、毎年の恒例行事となっています。今後も、地域とのつながりを大切にし、地域とともに育んでいく施設となるよう期待します。

## 指定管理者選定審議会による総合評価

B	<p>一人ひとり支援の内容が異なる利用者に対し、適切に対応ができていると思われず。また、自主的に居室段差解消工事を行うなど、利用者の立場に立った、利用者寄り添った施設運営がなされています。コロナ禍の状況にあって、施設利用者の写真や生活状況を毎月家族に通知していることに対して評価します。</p> <p>男女別静養室を設置するなど、施設利用者への新型コロナウイルス感染症防止対策が迅速に行われています。コロナ禍で行事が中止となり他団体や地域との交流が難しい状況が続いていますが、長年継続してきた交流や連携を絶やさぬよう工夫して事業を実施し、施設利用者個々のエンパワメントを引き出し、豊かな生活が提供できるよう取り組んでください。</p>
---	---